

平成 27 年度長野県ひとり親家庭実態調査

県民文化部 こども・家庭課

1 目 的

県内におけるひとり親家庭の実態を把握し、ひとり親家庭の行政ニーズに対応するためアンケート調査を行い、今後の「子どもの貧困対策」及びひとり親家庭福祉施策の充実のための基礎資料とする。

2 調査の方法

(1) 調査対象 児童扶養手当受給資格者 18,761 人 (H27. 7. 31)

(2) 調査手順

① こども・家庭課から市町村に、アンケート調査票等を配布。

② 調査票は、市町村から児童扶養手当受給資格者あての現況届送付時に同封し、当該現況届の市町村あて提出時に合わせて回収する。

③ 調査票を、市町村（町村は保健福祉事務所経由）からこども・家庭課へ送付。

(3) 調査基準日 平成 27 年 8 月 1 日

3 調査項目

家族状況、就業状況、収入等の状況、困りごと、子育てや家庭教育 等

4 「子どもの声 アンケート」

調査に合わせて「子どもの声 アンケート」を実施。

①対象：児童扶養手当受給資格者家庭の小学校 4 年生から 18 歳の子ども

②手順：調査票配付時に各家庭に各 1 枚アンケート用紙を同封

（1 家庭に子どもが 2 人以上の場合は中学生優先で記入を依頼）

記入後、中表に折り糊づけをした調査票を市町村へ提出

③内容：希望する職業、希望する進学先、希望を実現するのに必要なもの 等

5 回収状況

回収数 (H27. 9. 30 現在) 9,321 枚 (回収率 49.7%)

「子どもの声 アンケート」 4,457 枚 (対象児童推計約 18,000 人)

6 今後のスケジュール

11 月下旬を目途に速報公表予定

質問4 また、特に今年17歳になる（平成10年4月2日～平成11年4月1日生）お子さんの詳細な状況について、次のうちから選んでください。

- | | | |
|------------------|---------------------|-------------|
| 1 県立高校全日制（・高専） | 2 私立高校全日制 | 3 高校定時制・通信制 |
| 4 専門学校・専修学校・各種学校 | 5 その他学業（高卒認定試験等勉強等） | |
| 6 就業（正社員・フルタイム） | 7 就業（パート・アルバイト） | 8 無職 |

回答欄4

質問5 お子さん以外の同居者についてお答えください。

- | | |
|---------|---------|
| 1 同居者あり | 2 同居者なし |
|---------|---------|

回答欄5

質問6 ひとり親家庭になった理由は何ですか。

- | | | | | |
|------|------|------|--------|----------|
| 1 離婚 | 2 死別 | 3 未婚 | 4 養子縁組 | 5 その他（ ） |
|------|------|------|--------|----------|

回答欄6

質問6-2 そのときの末子のお子さんの年齢・学年を次のうちから選んでください。

- | | | |
|-------|-------------|----------------|
| 1 乳児 | 2 乳幼児（通園なし） | 3 保育園・幼稚園への通園中 |
| 4 小学生 | 5 中学生 | 6 高校生（相当年齢） |

回答欄6-2

質問7 あなたのお住まいに当てはまるものを、次のうちから選んでください。

- | | | |
|--------------------|--------------------|-----------|
| 1 持ち家（自分所有） | 2 持ち家（家族所有） | 3 親戚の家に同居 |
| 4 公営・公社・公団住宅 | 5 社宅（住込みを含む） | 8 その他（ ） |
| 6 民間アパート・貸家（2DK以下） | 7 民間アパート・貸家（3DK以上） | |

回答欄7

あなたのお仕事についてお聞きします。

質問8 あなたのお仕事について、次のうちどれが最もあてはまりますか。

（2種類以上の仕事をしている場合は、最も収入の多いものをお答えください。）

- | | | |
|----------------|-------|----------------|
| 1 自営業 | 2 正社員 | 3 非正規雇用（フルタイム） |
| 4 非正規雇用（短時間勤務） | 5 内職 | 6 その他（ ） |
| 7 仕事についていない | →質問9へ | |

回答欄8

質問8-2 <質問8で「自営業、正社員、非正規（フル、短時間）」と答えられた方のみお答えください。>現在の仕事の内容を次からお答えください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1 医療福祉専門職（看護師、作業療法士、歯科衛生士、保育士、介護福祉士等） | |
| 2 サービス専門職（理・美容師） | 3 事務職（事務系の職種全般） |
| 4 販売職（小売店主、スーパー等の店員） | 5 営業職（セールス等） |
| 6 サービス業従事者（外食・飲食店の店員、清掃員等） | |
| 7 運輸（運転手）・通信従事者 | 8 建設業従事者、重機オペレーター等 |
| 9 技術職・生産工程従事者（工員、職人等） | 10 農・林業従事者 |
| 11 その他（ ） | |

回答欄8-2

質問9 <質問8で「7 仕事についていない」とお答えの方にお聞きします。>仕事についていない理由として、次のうちどれが最も当てはまりますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 求職中（収入面の条件合わない） | 2 求職中（勤務時間の条件合わない） |
| 3 技能・技術・資格の習得中 | 4 自分の病気等で仕事ができない |
| 5 子どもの病気等で仕事ができない | 6 乳幼児や小さい子どもの世話に専念 |
| 7 子ども以外の家族・親族の介護 | 8 その他（ ） |

回答欄9

質問10 今後身に付けたい資格・知識はありますか。次のうち最も当てはまるものを選んでください。

- | | | | |
|-----------------------------|---------|----------------|-------------|
| 1 簿記 | 2 パソコン | 3 ビジネスマナー | 4 経理事務・医療事務 |
| 5 看護師、作業療法士、理学療法士、介護福祉士、保育士 | | | |
| 6 調理師・栄養士 | 7 理・美容師 | 8 高卒資格（認定試験合格） | |
| 9 その他（ ） | 10 特になし | | |

回答欄10

あなたのお世帯の収入についてお聞きします。

質問11 あなたのお世帯の平成26年1月1日から12月31日までの1年間の総収入額はいくらですか。

（注）税込の金額でお答えください。（年収です。）

ボーナス等の臨時収入も含めます。養育費、児童扶養手当等も含めます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 0～100万円未満 | 2 100万円～130万円未満 |
| 3 130万円～150万円未満 | 4 150万円～200万円未満 |
| 5 200万円～250万円未満 | 6 250万円～300万円未満 |
| 7 300万円～350万円未満 | 8 350万円以上 |

回答欄11

質問 12 1か月平均の収入内訳についておたずねします。ア～カのそれぞれの項目について、次のうちから該当する番号を記入してください。(月収です。)

0 0円	1 1万円未満	2 1万円～2万円未満	3 2万円～3万円未満
4 3万円～5万円未満	5 5万円～8万円未満	6 8万円～10万円未満	
7 10万円～15万円未満	8 15万円～20万円未満	9 20万円以上	

項目		項目	
ア あなたの勤労収入(税込)	回答欄 12-1	カ あなた以外の世帯員の収入の合計額(税込)	回答欄 12-6
イ あなたのボーナス等の臨時収入	回答欄 12-2	キ 実家・親戚等の援助・仕送り、独立した子どもからの仕送り	回答欄 12-7
ウ 離婚した配偶者からの養育費	回答欄 12-3	ク 死別した配偶者の遺族年金、生命保険金、死亡保険金	回答欄 12-8
エ 児童扶養手当(高校生まで)	回答欄 12-4	ケ 生活保護費	回答欄 12-9
オ 児童手当、就学援助制度等の給付金	回答欄 12-5	コ その他()	回答欄 12-10

<質問 13、14 については、離婚された方のみお答えください。>

質問 13 離婚時の養育費の取り決めについてお聞きします。

1 口約束	2 念書や約束書	3 離婚協議書
4 公正証書	5 離婚調停	6 離婚裁判
7 取り決めていない	8 その他()	

回答欄 13

質問 14 養育費の支払状況についてお聞きします。

1 取り決め通り、支払われている	2 取り決め通りではないが、支払われている
3 取り決めをしていないが、支払われている	4 取り決めをしたが、支払われていない
5 取り決めをしていないため、支払われていない	6 その他()

回答欄 14

母子父子寡婦福祉資金についてお聞きします。

質問 15 あなたは、母子父子寡婦福祉資金の借入をしたことがありますか。

1 はい	2 借りようと思ったが借りなかった	3 いいえ
------	-------------------	-------

回答欄 15

質問 16 母子父子寡婦福祉資金について、改善すべき部分は何でしょうか。次の中から2つ以内でお答えください。

1 貸付限度額の増額	2 貸付期間の長期化	3 貸付利率の無利子化
4 提出書類の簡素化	5 審査期間の短縮	6 審査会の臨時開催
7 連帯保証人の廃止	8 償還免除制度の充実	9 わからない

回答欄 16-1	回答欄 16-2

困りごと全般についてお聞きします。

質問 17 現在特に困っていることについて、次の中から2つ以内でお答えください。

1 子どもの健康	2 子どもと接する時間(世話・しつけ等)
3 子どもに勉強を教えたり、一緒に宿題等をみてやれないこと	4 子どもの学校・保育園等での様子
5 子どもの将来(進学等)	6 仕事(今の内容)
7 仕事(転職希望・職探し)	8 住居
9 日常生活費	10 レジャー・外食費用
11 子どもの教育費	12 養育費の未払い等
13 忙しすぎる	14 相談相手がない
15 集まる場所がない	16 自分の今の健康
17 自分の老後	

回答欄 17-1	回答欄 17-2

子育てや家庭教育についてお聞きします。

質問 18 あなたにとって、子育ての中で特に大変なことは何ですか。

次の中から2つ以内でお答えください。

1 子どもの健康管理・食生活	2 子どもと一緒に過ごす時間の確保
3 子どもに生き方や生活習慣や勉強を直接教えること	4 学力の定着・向上
5 子どもの意欲の維持・向上	6 思春期の子どもへの対応
7 今の保育料の確保	8 今の学校の学費の確保
9 学習塾の費用	10 修学旅行や部活の遠征費用の工面
11 将来の進学のための学費の貯金等	12 生活費全般の確保
13 特にない・わからない	14 その他()

回答欄 18-1	回答欄 18-2

(1人目) (2人目)

質問 19 小学生以上のお子さんについて、家庭での学習習慣をお聞かせください。

- 1 毎日定期的に勉強する
- 2 ほぼ毎日勉強する
- 3 テスト等の前は勉強する
- 4 家ではあまり勉強しないが、塾や放課後の教室や図書館等で勉強してくる
- 5 ほとんど勉強しない
- 6 その他 ()
- 7 わからない・知らない

回答欄 19-1	回答欄 19-2

質問 20 小学生以上のお子さんの進路（最終学歴等）について、現在の希望（予定）を教えてください。

- 1 全日制高校（・高専）
- 2 定時制・通信制高校
- 3 専門学校（高校相当）
- 4 短大・専門学校
- 5 大学
- 6 大学院
- 7 中学校卒業後就職
- 8 子どもの希望する学校
- 9 子どもの学力等の状況による
- 10 その他 ()
- 11 わからない・考えたことがない

(1人目) (2人目)

回答欄 20-1	回答欄 20-2

質問 21 小学生以上のお子さんのいる家庭で、子育て支援・学習支援等に関する行政への要望事項について、次の中から2つ以内で選んでください。

- 1 放課後の居場所（学童保育等）を充実してほしい
- 2 家では勉強する場所がないので、家以外で勉強できる場所を提供してほしい
- 3 家では勉強を教えられないので、無料や安価の学習塾をつくってほしい
- 4 友だちと一緒に今ある学習塾に行かせたいので、塾の費用を補助してほしい
- 5 制度資金や奨学金をもっと借りやすいもの、返済不要なものを拡充してほしい
- 6 勉強面ばかりでなく、生活全般にも使える児童扶養手当の増額を求めたい

回答欄 21-1	回答欄 21-2

質問 22 その他生活全般や職場でのお悩みや、福祉行政へのご意見・ご要望などをお書きください。

子育ての悩みごとや相談ごとは、県の子ども支援センター（電話 026-225-9330）もお気軽にご利用ください。

子育て環境全般についてお聞きします。

（ひとり親福祉のみならず、県の子育て支援策全般の基礎資料になりますので、ご協力願います。）

質問 23 子育てをする環境について、どんなことがポイントになりますか。

次の中から2つ以内でお答えください。

- 1 保育所、学童保育、子育て支援センター
- 2 小・中学校の教育水準や面倒見
- 3 条件のいい仕事に就けること
- 4 住宅の広さ・快適さ・安さ
- 5 暮らしやすさ・生活費の安さ
- 6 医療機関
- 7 交通の便がいい
- 8 近くに相談に乗ってくれる人たちや集まる場所がある
- 9 その他 ()

回答欄 23-1	回答欄 23-2

質問 24 例えば、田舎地域（いわゆる中山間地域）での子育てについて、どんな印象をお持ちですか。

次の中から2つ以内でお答えください。

- 1 豊かな自然環境の中で子育てできる
- 2 ゆとりを持った生活ができる
- 3 今より広い家に住める
- 4 全く新しい環境で新生活を始める魅力がある
- 5 子どもの学習の面が心配
- 6 自分の資格や経験を生かせる仕事がない
- 7 車がない・車の運転ができないと、買物・通勤等が不便
- 8 わからない・考えたことがない
- 9 その他 ()

回答欄 24-1	回答欄 24-2

質問 25 子育てのために住むところを選べるとしたら、条件が合えば転居をしてもよいですか。

- 1 転居してもよい
- 2 転居はできない
- 3 わからない・決められない

回答欄 25

質問 26 質問 25 で、「1 転居してもよい」と答えた方は左側からその条件を、「2 転居はできない」と答えた方は右側からその理由を選んで、2つ以内でお答えください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 子どもにとってプラスになる 2 子どもと接する時間が長くなる 3 新しい仕事や生活に期待が持てる 4 よりよい仕事が見つかる 5 住宅が広く、安くなる 6 転居費用を補助してもらえらるなら 7 生活にゆとりが生まれる 8 その他 () | <ul style="list-style-type: none"> 11 子どもを転校させたくない 12 今の仕事を続けたい 13 持ち家である 14 親族の近居で、生活の支援がある 15 ママ友や知人とのつながりがある 16 買物・通勤・通学の利便性が高い 17 今の生活を変えたくない 18 大きな不満はない 19 その他 () |
|---|---|

回答欄 26-1	回答欄 26-2

ご協力をありがとうございました。

こ こえ こうもく 子どもの声 アンケート項目 (しょうがっこう ねんせい さい 小学校4年生から18歳まで)

みな ゆめ きぼう
皆さんの夢や希望をかなえるために、おとなが何ができるか 考えています。
しょうらい きぼう べんきょう しんぱいごと じしん こえ き
将来の希望や勉強のことや心配事について、あなた自身の声を聞かせてくれたらうれしいです。
ひみつ まも
秘密は守ります。

しつもん
質問1 あなたは何年生ですか。該当するものを○で囲んでください。

かいとう
回答

しょうがっこう ねんせい ちゅうがっこう ねんせい ちゅうがっこう ねんせい こうこう ねんせい こうこう ねんせい た
小学校4～6年生、 中学校1～2年生、 中学校3年生、 高校1～2年生、 高校3年生、 その他

しつもん
質問2 あなたは将来、何になりたいですか。どんな職業に就きたいですか。

かいとう
回答

()、 わからない、 かんが 考えたことがない、 こた 答えたくない

しつもん
質問3 あなたは将来、どのような学校まで行きたいですか。

かいとう
回答

こうこう たんだい せんもんがっこう だいがく だいがくいん その他()、
わからない、 かんが 考えたことがない、 こた 答えたくない

しつもん
質問4 将来の希望をかなえるために、必要なものは何ですか。いくつ○をしてもいいです。

かいとう
回答

がくりやく べんきょう かね おや おうえん がっこう せんせい おとな の サポート、 とも
学力・勉強、 お金、 親の応援、 学校の先生、 大人のサポート、 友だち、
その他()、 わからない、 かんが 考えたことがない、 こた 答えたくない

しつもん
質問5 家で勉強する場所の代わりに、近所の公民館などにみんなで一緒に勉強する場所をつくるとし
たら、どのようなところならば参加してみたいですか。いくつ○をしてもいいです。

かいとう
回答

- べんきょう やす じかん あそ
(1) 勉強もするけれど、休み時間にはみんなで遊べる。
- しどう おとな ひと
(2) 指導してくれる大人の人がやさしい。
- とも おおぜいさんか
(3) 友だちも大勢参加している。
- い い
(4) 行きたいときに行くことができ、行きたくないときには行かなくてもいい。
- べんきょう おし
(5) 勉強がわかるようになるまで、しっかり教えてくれる。
- ゆうはん た だ
(6) とときどき夕飯を食べられる。おやつも出してくれる。
- おや かえ とも
(7) 親が帰ってくるまで、友だちといられる。
- た
(8) その他 ()

しつもん
質問6 今の心配や悩みや不満なことを、自由に書いてください。

じぶん べんきょう しんぱい しょうらい かぞく せいかつ とも
自分のこと、勉強のこと、進学のこと、将来のこと、家族のこと、生活のこと、友だちのこと……

こま
困ったとき、
どうしていいかわからないとき
でんわ
電話・メールしてね!
こども専用ダイヤル(無料)
0800-800-8035
メール
kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp
ながのけん こ しょうせい
長野県子ども支援センター

ひみつ かく
秘密は守るよ



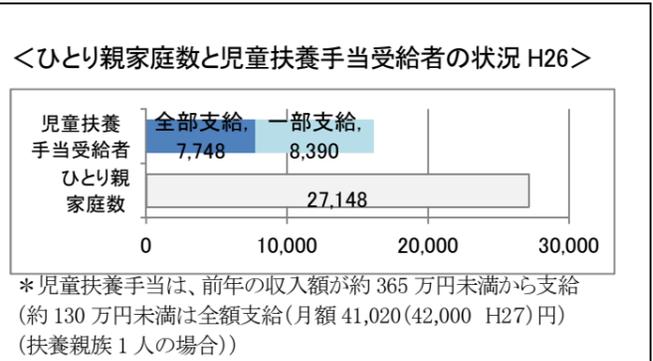
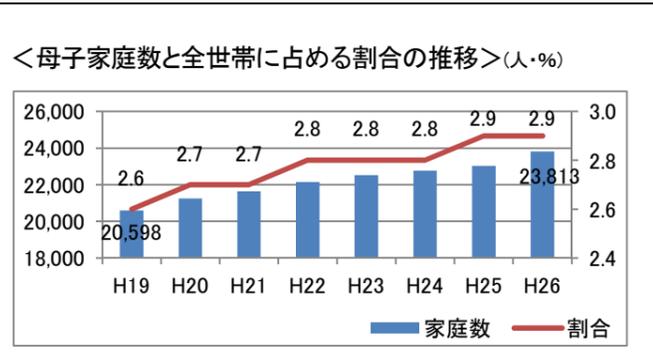

長野県PRキャラクター
©長野県アスクム
子ども支援センター

か お うちがわ お おやご わた
書き終わったら内側に折りたたみ、のりづけして親御さんに渡してください。ありがとうございました。

<ひとり親世帯の特性>

○「母子家庭」は、一般家庭に比べて、低い所得水準にあり、生計の維持と児童の養育という2つの役割を1人で担うことから、経済的、精神的に不安定な状況におかれがち。

○「父子家庭」は、一般的に家事全般や児童の養育についての悩みを抱える場合が多い。



現状の取組 (ひとり親家庭が利用できるサービス等)	子どもの声 (悩みや不安) ()内は将来の夢			課題
	[小学生] 家庭の不安定な環境がもたらす不安	[中学生] しだいに見えてくる将来への不安	[高校生] 目の前の自立に向けた具体的不安	
<子育て・教育に伴う経済的負担の軽減> ○ 子育てに伴う経済的負担の軽減 ・経済的給付(児童扶養手当、児童手当) ・市町村ごとの子育て支援施策(ひとり親家庭の保育料等減免、多子・低所得世帯の第3子以降保育料無料化) ○ 教育費負担の軽減 ・県内大学進学者、高校生等への奨学金 ・高校授業料等の負担軽減、修学を支える給付・貸与(就学援助制度、母子父子寡婦福祉資金貸付)	僕はサッカーが好きでクラブに入りたいが、母子家庭で生活するのに大変でお金がないので入りたくても入れません、ユニホームも無料のところがあるといいなと思います。(サッカー選手)	母子家庭でもお金のことを心配せず学べるような制度を作ってほしい。(通訳) お金が無いので大学までいけるかわからないのが不安(獣医)	進学したかったが、お金が無いと行けないので、就職の予定。どうしたら学校に行けるか悩んだけどあきらめた。誰でも進学できる日本になってほしい。(未記入)	<経済的困難による選択肢の制限> ○ 小中学校までは学校に関する経費は、就学援助制度等により基本的にかからないが、サークル・部活動などの用具代や遠征費、学習塾費などの経費負担は困難。 ○ 高校では、部活動費、学習塾費等に加え、通学費、昼食代、携帯代などの負担が増加。 ○ 高校以降は、ひとり立ちするための初度経費や生活費、さらに進学の場合は学費など多額な経費がかかるが、奨学金を利用しない理由として返還がネックとなっている。
<貧困の連鎖を断つ「学ぶ力」づくり> ○ 低所得世帯の子どもへの学習支援 ・学校による取組・家庭学習・補充学習の支援 ・地域からの取組・「学習支援ボランティア」の活用(ひとり親家庭学習ボランティア事業・地域未来塾) ○ 保育・幼児教育の質の向上 ・保育士人材の確保・育成、保育の質の向上の支援	お母さんはこれからどうしていくのか(新しいお父さんを作るのか)、お母さんは本当に幸せなのか、もっとお母さんの夢をかなえてあげたい。(未記載)	進学にお金がかからなければいいのに(アナウンサー・英語の先生)	お金がかからず勉強を教えてください場所がほしい。(薬剤師)	<世帯の経済力による「学力格差」> ○ 経済的な問題で塾へ行けない、あるいは、親が勉強をみることができない、勉強する環境にないなど家庭の問題が学力低下の背景にある場合がある。
<子ども支援の推進> ○ 貧困による困難を抱える子どもの支援 ・子ども支援センターによる相談・助言 ・学校から福祉へつなぐ仕組み(スクール・ソーシャル・ワーカー)	家の事で言われ、自分を否定されているような気持ちでとても嫌です。(歌手)	英語がわからなくなってきている。お母さんが具合が悪くても会社に行くから体を壊さないか心配。お母さんに何かとお金を払ってもらうのが申し訳ない。(未記載)	先生は「奨学金をもらって」と簡単に言うが奨学金はいつか返さなければいけないから簡単には考えられない。「特待生」もよほど成績が良く、ひとり親家庭でなく塾に行けるような人より成績が高くないとなれない。(安定した生活ができる職業)	<貧困による困難を抱える子ども> ○ 貧困を背景として、不登校やいじめ、高校中退など学校生活における課題を抱える子どもがいる。 ○ 一般家庭の子どもに比べ、家族や家庭の問題に悩んでいる子どもが多い。
<保護者の自立・就労支援と養育環境の整備> ○ 信州パーソナル・サポート事業 ・生活就労支援センター“まいさぼ”による自立相談、家計相談などの支援 ○ 育児と両立できる就労と生活の支援 ・子育て女性の就労支援 ・ひとり親の資格取得、生活支援等に対する支援(「就業・自立支援センター」による相談・講習会・訓練給付金、母子・父子自立支援員、母子生活支援施設、日常生活支援事業) ○ 健やかな育ちを支える環境づくり ・放課後の居場所づくり ・住宅の確保、食育等による育ちの支援	・お金が無いから将来の夢はかなわない。 ・お母さんが入院した時、家にずっと一人でとても困ったけど誰も助けてくれない。もし、お母さんが死んでしまったら高校にも行けないと思う。 ・お父さんは手紙を出しても何もしてくれないし、返事もない。 ・お母さんは仕事をしても私の学校行事で仕事を休むと嫌な顔をされて、すぐやめてしまう。かわいそうだから学校に来なくていいように参観日とか役員をなくしてほしい。(オーケストラ)	進学のことそうですし、母子家庭という環境のために将来が決まってしまうのか。金銭的に厳しいということで将来の選択肢が少なくなってしまうのか。こわいです。(未記載)	・塾に行きたいがお金が無いので行くことができない。奨学金を利用して進学するがそれだけでは足りず、将来にも不安が残る。 ・図書館を増やして利用時間を延ばしてほしい。 ・交通の便が悪いので学校にも行きにくい、学生の利用しやすいバスを作ってほしい。(小学校教諭)	<親を支える仕組みの弱さ> ○ 子どもを抱えるため就労先は限られ、子育てにおける支援も受けにくく、心身ともに負担感が強い。 ○ 離婚前の手続きや離婚後の養育費、面会交流など精神的な負担感も強い。 ○ 親自身の病気や障害、成育歴などから、生活に支障が生じている家庭がみられる。